

# 子ども多文化共生センター通信(テラたま通信)

## Multicultural Children's Center News

第89号

発行元 子ども多文化共生センター (TEL 0797-35-4537)

発行日 2023(令和5)年12月20日(水)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>



テラたま  
(イメージキャラクター)

早いもので2023年も残りあとわずかとなりました。今年は新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し、4年ぶりに復活したイベントや行事もありました。スポーツでは、WBCに始まり、ラグビーやバスケットボールのW杯等の国際大会が数多く行われ、大いに盛り上がりました。ラグビーW杯のニュージーランドの選手が披露する「ハカ」は、圧倒的な迫力と民族としての一体感があり圧巻でした。そのように躍動する選手たちの姿から、民族の誇りを守っていくことの大切さを感じました。多様性を認める多文化共生社会の実現に向けて、皆様と連携・協力を図りながら、取り組めていることに改めて感謝申し上げます。今年も本当にありがとうございました。来年も皆様にとって明るい年になりますようお願いしております。

### 『外国語学習の科学 —第二言語習得論とは何か—』

(白井 恭弘 著 岩波新書(株) 岩波書店 2008年9月19日初版第1刷発行)

外国語を学ぶ日本人は多いが、ごく一部の人を除いてなかなかネイティブのように流暢に話すことができず、もどかしい思いを抱えている人も多いのではないだろうか。中高6年間毎週何時間も英語の授業を受けておきながら、なぜなのか。逆に言えば、どのような学習方法をとれば、外国語を意のままに操ることができるのだろうか。かなり以前から英語教育学、日本語教育学はもちろんのこと言語学、心理学、認知科学等、様々な領域からいろいろな研究がなされてきたが、本当に効果がある方法とはどのようなものなのか。本書は第二言語習得における最も先進的な研究者の一人である著者が、わかりやすい言葉でその成果を説明し、さらに実践的で効果的な学習方法を提示している。英語教育、日本語教育に携わる者だけでなく、一般の第二言語習得に興味関心のある人々にとって効果的な学習方法のヒントが得られるであろう。

### ★兵庫県公立高等学校「外国人生徒にかかわる特別枠選抜について」

2024(令和6)年度は、外国人生徒にかかわる特別枠選抜が次の6校の全日制高等学校で実施されます。

- |                |          |              |      |
|----------------|----------|--------------|------|
| ・ 県立神戸甲北高等学校   | 総合学科     | ・ 県立伊丹北高等学校  | 総合学科 |
| ・ 県立芦屋高等学校     | 普通科(単位制) | ・ 県立加古川南高等学校 | 総合学科 |
| ・ 神戸市立須磨翔風高等学校 | 総合学科     | ・ 県立香寺高等学校   | 総合学科 |

【募集定員】各校3名

【通学区域】県内全域

【出願手続】2月2日(金)~2月6日(火) 午前9時~午後4時30分(2月6日(火)は午前9時~午後0時)

【志願変更】2月7日(水)~2月8日(木)

【選抜実施】2月15日(木)

【実施内容】適性検査(国語、数学、英語)、面接

【合格発表】2月20日(火)

★詳細は、各実施校の募集要項を確認してください。

※不合格の場合は、3月12日(火)に実施される学力検査等を受検することができる。

◇これからのイベント情報◇

★2023「人権教育入門講座」のお知らせ

と き 2024年2月17日(土) 午後1時30分～午後4時

ところ 兵庫県立のじぎく会館(神戸市中央区)

対 象 教職員 行政職員 地域指導者など

参加体験型学習の手法を使い、人権問題及び部落差別問題を実践の課題として捉え人権同和学習の在り方(授業づくり)について学ぶ講座です。興味をお持ちの方、奮ってご参加ください。



★オンライン講座「多文化共生」を考える研修会2023

今回で23回目を数える研修会。8月16日から25日まで、多数の講師をお迎えし、『総論～「移民国家」日本の現実～』等4つのテーマで計4回、多文化共生の魅力や課題など、オンライン Zoom を用いて行われました。参加した方々にとって実り多い研修会になったようです。

★ひょうご・ヒューマンフェスティバル2023 in あしや



8月26日(土)に芦屋市民センターで子ども多文化共生にかかわるイベントが行われました。フォーラムでは「外国人児童生徒等の自己実現への取組 ～多文化共生社会の実現に向けた連携を考える～」というテーマで外国人生徒、子ども多文化共生サポーター、地域の支援者等が、それぞれの立場で、多文化共生社会の実現にむけた取組や課題等を発表し、活発に意見を交換しました。また、当センターからは民族衣装、教科書・資料、楽器などの展示を行い、多くの方に見ていただきました。

★2023外国人児童生徒等に関する就学支援ガイダンス



今年度も7月8日(土)神戸会場を皮切りに、7月23日(日)川西会場、8月5日(土)三木会場、8月26日(日)芦屋会場、そして9月10日(日)姫路会場で就学支援ガイダンスを行いました。5つの会場で計216名(うち教育相談45件107名)の参加がありました。教育相談では熱心に相談する姿が見られ、進路に関する疑問を解決するきっかけとなったようです。

子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2

TEL: 0797-35-4537 FAX: 0797-35-4538 E-mail: mc-center@hyogo-c.ed.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/

外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。



研修会やイベントの情報を X (旧 Twitter) で紹介してるよ。

センターの HP からも見に来てね! (@hyogo\_mc\_center)

https://twitter.com/hyogo\_mc\_center



民族衣装や世界の楽器などをお持ちでしたら、センターに寄付をお願いします。